

ち～ず

いつも笑顔で仲よく生活しています。
お一人おひとりの自立をお手伝いしています。

令和元年9, 10月号

No. 55



『秋祭り』

今年も楽陽荘にちょうさと獅子が来てくれました。目の前で差し上がったちょうさに、見ているお年寄りの手にも力が入っていました。「このちょうさは、うちの所のやで」「とんぼが白いのは珍しいなあ」と話も弾んでいます。



獅子舞では小さな子どもの叩く曲打ちに合わせ舞う獅子に身をのりだして見入っていました。「ちょうさや獅子も見れておごちそうも食べてええお祭りや」



『運動会』

前日まで雨が降っており心配していましたが、朝お年寄りの方々が「あつ。晴れた」と声をあげ「運動会外でできるね」と喜んでおられました。「旗、外に出さない」と嬉しそうに話しながら身支度をして玄関前に集まってきました。いつもなら持てない椅子を運ぶやら競技の準備物を出すやら皆で運動会を始める用意をしました。開始のファンファーレが響き渡ると、お一人おひとりの顔が引き締まり、元よく選手宣誓。競技中では競い合う勢いの素晴らしいこと。「まだまだ青春時代」顔を見合わせて笑い、空に向かってバンザイの大きな声が印象的でした。



『90歳市長顕彰』

10月1日、観音寺市長の来園があり今年卒寿（90歳）を迎えられた宮下アイコ様と近藤芳子様のお二人に顕彰状と記念品の授与がありました。市長さんから優しいお言葉を添えて手渡され大変喜んでおられました。夕食はお祝い膳を囲み、皆で美味しく頂きました。



編集後記

10月22日、天皇陛下の「即位礼正殿の儀」があり美しい十二単衣など皇室の雅やかな衣装と厳かな行事に日本の素晴らしさに感動しました。平和であることは大変幸せなことですね。

広報担当者

山崎・田中ま